

中泊町 高根・尾別地区 ため池ハザードマップ

緊急通報ダイヤル

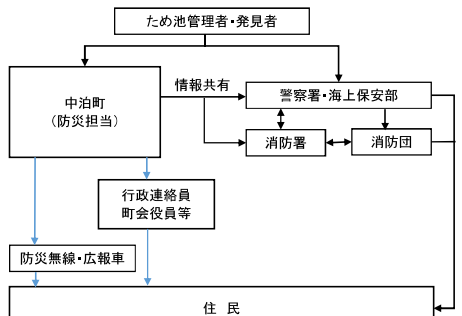
例えば、緊急通報ダイヤルではこのような対応です。
「こちら119番です。火事ですが何処ですか?」
「こちら110番です。事件ですが何処ですか?」
あてず。あてず。あてず。
あなたの状況を伝えてください。

消防機関 119番
警察機関 110番

浸水深の目安

3.0m以上	2階の床上以上の浸水	避難困難
2.5～3.0未満	2階の床下までの浸水	
2.0～2.5未満	1階の軒下までの浸水	
1.5～2.0未満	大人の身長を超える程度	
1.0～1.5未満	大人の肩までつかかる程度	通行は危険
0.5～1.0未満	大人の腰までつかかる程度	
0.5未満	大人の膝までつかかる程度	
0.5未満	大人の膝までつかかる程度	通行には注意が必要

情報伝達の流れ



もっと知ってほしい。街で見かける、このマーク



「ハートプラスマーク」
ハートプラスマークは内部障害・内臓疾患を示すマークとして作られました。



身体障害者補助犬マーク
身体障害者補助犬同伴の啓蒙のためのマークです。
身体障害者補助犬は、盲導犬、介助犬、聴導犬のことです。



ヘルプマーク
義足や人工関節を使用している方、内部障害の方、または、発達障害の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるよう、普及に努めています。



盲人のための国際シンボルマーク
このマークを見つけた場合には、盲導者の利用への配慮について、質問、解、御協力をお願いします。



耳マーク
このマークを見つけた場合には、相手は「聞こえない」ことを理解し、コミュニケーションの方法への配慮に努めて御協力をお願いします。



障害者のための国際シンボルマーク
すべての障害者を対象としたものです。特に車椅子を利用する障害者を指しているものではありません。利用への配慮に努めて、御理解、御協力をお願いします。

このマップは、200年に一度の大雨が降り、皆さんの地域の農業用ため池が決壊した場合に、最悪の条件を想定して作成したものです。

※200年に一度の大雨

最大日雨量：303.0mm/24h

最大時間雨量：77.0mm/h

(市浦観測所 雨量データより算出)

地震発生時：

対象ため池の堤体が気象庁震度6弱 計測震度5.5～6.0未満を想定される範囲内にある為、強い揺れの地震発生時は要注意

いざというときは

避難は可能な限り浸水がはじまる前に。
動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に。
必ず徒歩で！足元に注意して避難。

浸水区域内

- ため池直下：速やかに避難路を使って安全な場所へ。
- ため池直下以外：建物の2階などに避難し、水が引いたら避難所へ避難。



中泊町
指定避難所



主要施設等



避難経路



土砂災害
特別警戒区域



時間毎浸水
到達地点



土砂災害
警戒区域

中泊町指定避難場所一覧

一時避難場所			
No.	施設名	所在地	電話番号
	青森県立中里高等学校	高根字小金石567	58-3149
	下高根公民館	高根字小金石916	
	高寿荘	高根字小金石205-4	

行政機関等連絡先

機関名	所在地	電話番号
中泊町役場 総務課	中里字紅葉坂209番地	57-2111
中泊町役場 小泊支所	小泊字小泊488	64-2111
中里消防署	中里字宝森1-2	57-2370 (119)
小泊消防署	小泊字砂山1078-1	64-2375 (119)
中里駐在所	中里字紅葉坂18-3	64-2110 (110)
内湯駐在所	薄子字玉清水21-62	58-2351 (110)
小泊駐在所	小泊字砂山1187	64-2110 (110)
五所川原警察署	五所川原市字栄町6-1	35-2141 (110)
青森海上保安部	青柳1丁目1-2	017-734-2421 (118)
青森地方気象台	花園1丁目17-19	017-741-7411
西北地域県民局地域農林水産部 (水利防災課)	つがる市木造町字若宮9-1	0173-42-4343
青森県庁(防災消防課)	長島1丁目1-1	017-734-9088

■ ため池ハザードマップについて

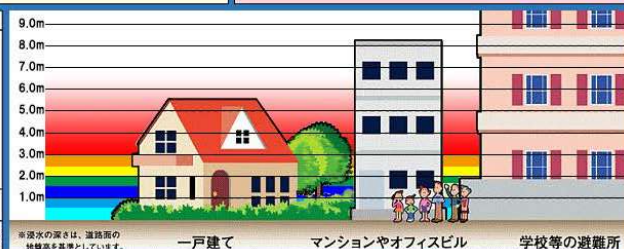
このマップは、農業用ため池が大雨等により、万が一にも堤が壊れ、皆さんの地域にため池の貯水が流出した場合を想定して作成したものです。

近年のゲリラ豪雨(局地的大雨)や大地震時には特に注意し、浸水想定区域で居住または作業を行っている方は、速やかに2階など高いところに避難が必要です。

ため池の貯水は、流出してしまうと徐々に水は引きますが、ため池の周辺には沢や川があるため、継続して雨が降っている場合は完全に水が引くまで高いところに避難してください。

避難をするときには、テレビ・ラジオ等の気象情報をこまめに確認し、動きやすい服装で、事前に徒歩にて足元に十分注意して避難を行ってください。

浸水深の目安			
	3.0m以上	2階の床上以上の浸水	避難困難
	2.5～3.0未満	2階の床下までの浸水	
	2.0～2.5未満	1階の軒下までの浸水	
	1.5～2.0未満	大人の身長を超える程度	
	1.0～1.5未満	大人の肩までつかう程度	
	0.5～1.0未満	大人の膝までつかう程度	通行は危険
	0.5未満	大人の膝までつかう程度	通行には注意が必要



行政機関等連絡先		
機関名	所在地	電話番号
中泊町役場 総務課	中里字紅葉坂209番地	57-2111
中泊町役場 小泊支所	小泊字小泊488	64-2111
中里消防署	中里字宝森1-2	57-2370 (119)
小泊消防署	小泊字砂山1078-1	64-2375 (119)
中里駐在所	中里字紅葉坂18-3	64-2110 (110)
内潟駐在所	薄市字玉清水21-62	58-2351 (110)
小泊駐在所	小泊字砂山1187	64-2110 (110)
五所川原警察署	五所川原市字栄町6-1	35-2141 (110)
青森海上保安部	青柳1丁目1-2	017-734-2421 (118)
青森地方気象台	花園1丁目17-19	017-741-7411
西北地域県民局地域農林水産部 (水利防災課)	つがる市木造町字若宮9-1	0173-42-4343
青森県庁(防災消防課)	長島1丁目1-1	017-734-9088

緊急通報ダイヤル

例えば、緊急通報ダイヤルではこのような対応です。

「こちら119番です。火事ですか?急病ですか?」
「こちら110番です。事件ですか?事故ですか?」

あわてず、あせらず、はっきりと、
あなたの状況を伝えてください。

消防機関	119番
警察機関	110番

もっと知ってほしい。街で見かける、このマーク



「ハート・プラス」マーク
ト・プラスマークは内部障害・内臓疾患
すマークとして作られました。

身体障害者補助犬マーク
身体障害者補助犬同伴の啓発のため
マークです。

義足や人工関節を使用している障害の方、または、発達障害の方の助言配慮を必要としていることが多くあることが弊団を必要と



のマークを見かけた場合には、視覚者への利用への配慮について、御理

耳マーク

国際シンボルマー
すべての障害者を対象としたもの
特に車椅子を利用する障害者を
ついでものであっても

避難時にあると便利なもの

☑ 生活用品など			☑ 情報収集用品			☑ 貴重品		
☐ 飲料水(1人1日3リットルが目安)	☐ ティッシュ(ウェットティッシュ)	☐ 厚手のビニールシート	☐ 携帯ラジオ	☐ 現金				
☐ 非常食(缶詰、インスタント食品など)	☐ トイレトペーパー	☐ 紙食器	☐ 携帯電話と充電器	☐ 身分証明書(運転免許証など)				
☐ 懐中電灯と予備電池	☐ マスク	☐ 台所用ラップ・アルミホイル	☐ 公衆電話用10円硬貨	☐ 印鑑				
☐ ヘルメット	☐ マッチ又はライター	☐ 笛(救助を求める時に使用)	☐ 家族の写真(はぐれた時の確認用)	☐ 預金通帳				
☐ 革製手袋又は軍手	☐ ローソク	☐ 粉ミルクとおむつ(乳幼児がいる家庭)	☐ 筆記用具	☐ 健康保険証				
☐ 衣類、タオル	☐ 医薬品(常備薬を含む)	☐ おもちゃ(子供がいる家庭)	☐ 防災マップ(市町村や町会で作成したもの)					
☐ 雨具(長靴・レインコート)	☐ アルミ製保温シート							
☑ 防災用にあるとよい物			☑ 備蓄しておくといふ物			☑ その他		
☐ バール	☐ スコップ	☐ 毛布	☐ 下駄					
☐ のこぎり	☐ ロープ	☐ テントと寝袋	☐ 使い捨てカイロ					
☐ 金づち		☐ 卓上コンロ	☐ 生理用品					
☐ はしこ		☐ ポリタンク	☐ 炊飯用具(コッヘル)					
☐ 消火器		☐ 簡易トイレ	☐ ガムテープ					
☐ バケツ		☐ 石鹸	☐ シャンプー(水を使わないもの)					

わが家の防災メモ

避難場所を確認しておきましょう

わが家の避難場所	
わが家の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

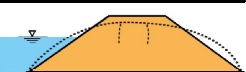
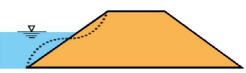
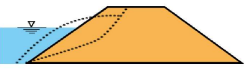
[illegible]

■ ため池決壊のメカニズム

○豪雨によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
越流 破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する場合がある。 また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合がある。
すべり 破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合がある。
浸透 破壊		堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合がある。 また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する場合がある。

○地震による ため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合がある。 堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。
沈下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合がある。多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合がある。
崩壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。